

2017~2018年度 YAMAGATA EVENING ROTARY CLUB 山形イブニングロータリークラブ会報



第733回例会(第31回例会) 2018年 3月26日

事務局
山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2階
TEL 023-632-7777 FAX 023-624-5200
E-mail: evening@rid2800.jp
H P: https://www.yere-rc.com

例会場: フォーラム 例会日: 月曜日17:45~
会長◎荒井 稔

映画鑑賞例会「北の桜守」

第733回例会は、映画鑑賞・親睦例会として、映画「北の桜守」を鑑賞しました。「北の桜守」は吉永小百合主演120作目の映画として話題となっている映画で、吉永小百合以外に、堺 雅人、篠原涼子、岸部一徳、阿部 寛、佐藤浩市ら共演陣も豪華で、監督は「おくりびと」の滝田洋二郎です。

《物語》1945年5月、南樺太に住む江蓮家の庭に待望の桜が花開いた。夫と息子たちと暮らす江蓮てつが大切に育てたその花は、やがて家族の結束となる。

しかし、8月、本土が終戦に向かう中、樺太にはソ連軍が迫っていた。樺太に残る夫との再会を約束し、てつは二人の息子連れて網走へと逃げ延びる。

時は流れ1971年、次男の修二郎はアメリカに渡って成功し、米国企業の日本支社長として帰国する。15年ぶりに網走に母を訪ねると、そこには年老いたてつの姿があった。

一人暮らしが心もとなく思えるその様子に、再び母と共に暮らす決意を固める修二郎。しかし思いあうがゆえに母子はすれ違いを重ね、立派になった修二郎に迷惑をかけたくないと、てつは一人網走に戻ろうとする。

母に寄り添いたいと願う修二郎は、二人で北海道の各地を巡り、共に過ごした記憶を拾い集めるように旅を始める。再会を誓った家族への想い。寒さと貧しさに耐え、懸命に生き抜いた親子の記憶。戦後の苦難を共にした懐かしく温かい人々との再会。幸せとは、記憶とは、そして親子とは。そして満開の桜の下で明かされる、衝撃の真実——

(「北の桜守」映画パンフレットより。)



幹事報告(紙上報告)

- 今日は恒例の映画鑑賞例会です。吉永小百合主演で話題になっている「北の桜守」を鑑賞します。
- 4月2日(月)は古澤会員に無理にお願いしてパレスグランドール婚礼営業主任の上條智広氏に卓話お願いいたしました。上條さんは、GOOD WEDDING AWARD 2017でグランプリに輝いた方で「ご縁を紡ぐ」のタイトルで結婚にまつわるお話をいただきます。
- 4月9日(月)はチャーター会員卓話で、今回は中村祐一会員です。
- 4月16日(月)は今年度ガバナー事務所からご紹介いただき、山本学園高校教諭で、インターアクト部顧問の松田栄子先生からインターアクトと、高校生の活動について卓話いただきます。当クラブは消極的であり、私自身インターアクトについては全く知識がありませんので、勉強するいい機会と考えております。
- 4月23日(月)例会は佐藤悟一さんの山形一寸亭さんで「観桜会」を行います。出席宜しく願いいたします。

◆出席報告

| | 会員総数 | 出席義務会員数 | 出席会員数 | 出席率 |
|--------|------|---------|-------|---------------|
| 本日 | 30 | 27 | 12 | 44.44% |
| 3/12修正 | 30 | 27 | 14 | 33.33%→51.85% |